

令和8年度第3回世田谷区障害者施策推進協議会 質問及び意見

○ 質問

令和8年度第3回世田谷区障害者施策推進協議会資料への質問等について、次のとおり回答します。

案件名	次期せたがやインクルージョンプランー世田谷区障害施策推進計画ー(素案)について
質問	資料 1-2 の 22 頁に自立生活援助サービス事業所が 3 ヶ所とありますが、実際に動いているのは「おはな」だけと聞いております。 他の 2 ヶ所の方は、人手不足と資金援助不足で動けないと、事業所の方から聞きました。 現在は援助も 1 年と限られており、それが 2 年になれば、援助も充実すると聞いています。 精神障害者にとって、自立生活援助はととてもありがたいし、必要なサービスです。 資金面をもう少し考えていただけないでしょうか。
回答	自立生活援助は、一人暮らしなどをしている障害のある方の自宅を定期的に訪問し、生活上の困りごとの相談や関係機関との連絡調整を行うサービスで、 精神障害のある方が地域で安心して暮らすために重要なサービスと認識しています。 自立生活援助の標準利用期間は1年ですが、制度上は、必要に応じて利用期間を更新できる場合があります。 事業所の運営や財政面については、サービス報酬のあり方にも関わる課題と認識しております。 いただいたご意見を踏まえ、機会を捉えた国等への要望も含め、検討してまいります。

○ 意見

今回頂戴しましたご意見については、担当所管に共有させていただきました。

NO.	案件名	意見
1	次期せたがやインクルージョンプランー世田谷区障害施策推進計画ー(素案)について	住居関連の話題が多くでておりましたが、高次脳機能障害の当事者でグループホームの整備はとても期待の高いものです。 ただ、なかなかこれも難しい問題を抱えているのかなと思います。 私の知人の事例ですが、入所していたグループホームの経営者が変わって、直接接する担当者の交代によってうまくいかなくなって、結局退所したということがありました。 本当のところはどうかわかりませんが、補助金が付くとビジネスチャンスと捉えて参入してくる業者もあるのかなと危惧します。 善意とやる気のスタッフに支えられていればいいが仕事と割り切ったような冷たい感じであれば当事者も面白くなくトラブルになるということもあるのかなと思います。 また、新規参入したが、うまくいかず撤退という事業者が出てくる恐れもあるのかなと思います。 どうか、優しく温かいグループホームを増やしていただけるように、そして持続可能な計画を願います。

※ 質問・意見において個人情報等を含む箇所については、表現を加工、修正させていただく場合があります。